

春原町の老人福祉センターが「イオン日向店2階」へ移転しました

昨年9月議会で一般質問を行い、強く要望した春原町の「老人福祉センター」の老朽化対策として、1,080万5,000円が計上され「イオン日向店」へと移転。昨年10月28日、「高齢者福祉センター：ひなた館」と名称を改めオープンしました。

以前の建物は築51年が経過して傷みがひどかったので、「イオン日向店2階」を借り受け、同センターとしての機能を継続する…という取組みです。

建物の全面的な改修工事を強く求めたのですが、かなりの費用がかさみ、駐車場も狭いので、駐車場も広いイオンへ「機能移転」という選択肢が採用されました。

新施設は、集会室や娯楽室、談話スペース、相談コーナーなどがあり、床面積は214m²。60歳以上で構成する団体であれば、無料で利用できるようになっています。

開館は、毎週、月～金の午前9時から午後5時まで。

委員会では、賃借料について質疑があり、所管（高齢者あんしん課）の答弁では、中心市街地の店舗等と比較しても妥当な金額（割安）となっているとのことでした。



イオン日向店2階に引っ越しした高齢者福祉センターの（10月28日の開所式典：小職も参加しました）

幸脇・鳥川地区に携帯電話の中継局アンテナ設置
急傾斜崩壊防止工事の調査設計が進行中

市と業務提携して「デジタル化推進計画」を進めている「ソフトバンク株式会社」のご厚意により、携帯電話不感地帯だった幸脇・鳥川地区に、中継アンテナを無償で建てていただく運びとなりました。既に、防災無線ポール西隣りに新たなアンテナを整備。昨年度中に、開設許可申請書を国へ提出済み。今春中には使用となります。

一方、同地区（旧日向市側）東側の裏山は、大雨や台風時に崩壊する危険度が高く、以前から早期の急傾斜崩壊防止工事が要望されていました。私も、令和4年度・6月議会で一般質問を行い、携帯不感地帯解消と併せて執行部に質問。同工事の施工をお願いした経緯があります。昨年度、約4千万円の調査設計費を計上。本年3月までには設計を終え、4月以降、本格的な工事が始まります。大雨の度に不安な日々を過ごしていました地元住民の皆さんにとっては朗報です。

図書館システム導入の蔵書管理・LINE活用の詳細は？

図書館長の答弁：これまでの図書館利用カードの代わりに、「マイナンバーカード」をかざすことで、同様の活用ができます。

さらに、公式LINEを導入して、読みたい本の予約や図書の検索もタイムリーに行うことが可能です。

電子図書館を導入します

県立図書館が行っているような、図書館に来館することなく、読書を楽しむことができる「電子図書館サービス」を7年度から始めます。障がい者や高齢者の皆さんにとりましては利用しやすくなると思います。

準備期間がありますことから、契約を4月中に行いますので、できるだけ早い時期にスタートしたいと考えています。

※市立図書館公式LINEのQRコードです →



議

報

会



小林たかひろ

絆

市政何でも相談室
携帯：090-4347-2712

新年おめでとうございます。本年が皆さま方にとりまして、輝かしい年となりますよう、心から祈念いたします。
さて、昨年1年間を振り返り、常任委員会審査や一般質問などの内容についてまとめました。

質問は、「大規模災害時の対応」や「旧日向サンパーク温泉の行方」について。委員会では、「文教福祉委員会」（委員長）に所属していますことから、審査のおもな内容などについて、皆さまにお知らせいたします。

消防団員が減少。どう備える？
女性団員のための機庫等の環境整備はどうか

市長・教育長・消防長の答弁：インスタグラムなどのSNSを開設して消防団活動のPRを行います。
団員の報酬については、国の基準に基づき令和4年度に改定しています。今後とも県内各自治体の情報も参考にしながら検討します。

消防団活動への周知と後継者育成は…？

「わたしたちの日向市」という副読本があり、小学3、4年生を対象に消防団について学習するようになっています。中学生の団員体験学習については、「よのなか教室」として、団員の方々からお話ををしていただく仕組みは現在、行っているところです。

増員策はあるか？

女性消防団員のための環境整備は、意見を聴きながら、活動しやすいよう努めます。今後とも、団活動への理解と協力をいただくため、団員在籍の事業所等への訪問を再開したいと思います。



↑ 女性消防団による操法大会（日向市消防訓練広場：お倉ヶ浜）

← 鳥川地区に整備された携帯電話用アンテナポール（左側）。今春開通予定

金が浜ニュータウン・市道認定を急げ！

質問→令和4年に請願が出され議会審査では「趣旨採択」されました。住戸数も増加しています。にもかかわらず未だに市道認定されていません。自転車で通学する高校生もありますし、豪雨の際には、浄化槽から汚水が逆流する住家もあると聞きますが、対応はいかがでしょうか？

市長答弁→私も現地確認しています。道路も波打っていますし、傷んでいる個所もあります。質問の内容を踏まえて、所管部で様々な対応策を検証しているところです。

認定に際ましては、いろいろな課題がありますことから、解決向け取組んでまいります。



どう進める(昨年9月議会)

津波リスクの高い「美々津中学校」の移転

昨年9月議会で質問しましたが、教育長の答弁では、「現在、小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針を策定中。この中に前倒しして盛り込むこととしています。

さらには、小中一貫校としての設置も視野に入れ検討を重ねるとともに、地域の皆さんへのアンケート調査を実施したいと考えています(区長さんを通じて2月ごろご家庭へ配布されます)。

昨年8月の日向灘地震を考えますと、防災教育の充実はもちろんですが、まずは子どもたちの命を守るために、高台への移転を含め、安全、安心な場所で学べる教育環境の整備が最優先されるべきではないかと感じています」とのことでした。

去る1月8日の南部地区・区長公民館長会の席上、教育長をはじめ、教育部長、学校教育課長らによる今後の対応策についての説明がありました。宮崎日日新聞でも日向灘地震、南海トラフ地震の特集が掲載されています。

アンケート調査を踏まえ、タイムリーな移転対応が求められます。



東郷診療所・グランドオープン・12月2日
駐車場整備済み

市立東方病院は、令和3年から病床をなくした診療所となり、業務を続けてきました。しかしながら、建物の老朽化が進んでいたことから、建替え工事が進められてきましたが、昨年3月に完成。3月11日から外来診察業務を開始しています。その後、未整備だった駐車場など外構工事が昨年11月末までに完成。12月2日にグランドオープンしました。

総工費は外構工事を含め6億4000万円で、CTや骨密度測定装置等も配備されています。

鉄骨平屋建て599m²で木の香あふれる施設です。
「東郷町地域に根ざし、医療、保健、福祉、介護の架け橋となる診療所」。住み慣れたまちで安心して暮らし続けるため、今後とも、地域に寄り沿う訪問看護事業などを実施。健康増進、高齢者の皆さんの中核医療機関としての役割を担う施設となります。

何としても、旧日向サンパーク温泉の復活を(昨年9月議会)

「道の駅日向」の整備拡充についてはどうか

質問→前市長は復活する前提として、県有地の買収が先との答弁でした。また、そのうえで、民間譲渡のために令和7年度までを限度とした7,000万円の限度金まで用意されていますが、復活の見通しはどうでしょうか?

また、物産館から昨年7月に陳情された3項目についての考え方を示していただきたいがいかがでしょう?

市長答弁→現在、県との協議を最優先に進めています。調整が図られ次第、譲渡条件を再度整理して民間事業者への募集を行います。

道の駅日向は、災害時には、地域住民はもとより観光客の避難所、情報提供などの防災拠点施設と位置づけられています。

北側の森林伐採、用地確保については、搬出時のルート確保の問題日豊本線の安全対策等の課題もあります。今後は、観光拠点施設としての必要性や利用状況の検討、災害時の駐車場確保の必要性など、将来的な在り方について調査検討したいと考えています。

Back-Stage I → ▶文教福祉委員長として2年が過ぎようとしている。かつて行政マンとして動いていた時代を振り返ると、特に福祉分野、教育分野については著しい時代の変遷を感じる。法改正もたびたび行われているほか、新しい法律も次々に誕生している。ライフワークスタイルも著しく変化した。

▶防災関連だが、東郷町小野田地区、美々津町余瀬地区の内水対策についても9月議会で言及。その後、当面の措置として、両地区とも大型ポンプ2台を豪雨時に設置して対応することとなったが…大丈夫だろうか? ちと気がかり。

▶美々津の歴史的町並みの「美々津軒」でFB友の佐藤さんが「えんぴつ画展示会」を10日間行ったが大盛況。700人弱の方々が訪れた。準備や撤去など手伝っていただいたスタッフの皆さん方に心から感謝申し上げたい。謝々。Kobat

遠見地区・舟間海岸の流木処理

本年1月末から撤去予定です

日豊海岸国定公園の南端に位置する幸脇・遠見地区の「舟間海岸」(神武東遷伝説の舞台)に、令和4年9月・台風14号の通過で耳川上流域から流れ出て打ち上げられ、放置されていたおびただしい量の流木。私も幾度となく地元区長さんとともに、管理者である県へと陳情し、また、一般質問でも取り上げ、一日も早い撤去を…と、訴え続けてきました。

こうした経緯が実を結び、昨年1月、処理業者が決定。重機2機が現地入りして撤去作業を行い、2月中には一部を残し、大木等の撤去作業が終了。しかしながら、昨年8月に襲来した台風10号で、またもや大量の流木が集積してしまいました。このことについても言及。処理業者も決まり、今年1月下旬から撤去作業に取り掛かることになりました。

また、フクトが浦(サンパーク公園東側海岸)の流木についても、重機が入るための新たな仮設道路を敷設します。処理業者も決まり、3月末までには、すべて撤去することが決まりました。本市はもとより、県日向土木事務所さんのお陰です。神武伝説が色濃く残る、あの美しい海岸線が、一日も早くよみがえることを願つてやみません。

◀フクトが浦。神武天皇はこの沖を通りかかったがフグの大群に行く手を阻まれた。天皇はこの海岸に上陸。砂利石に矢じりで「フグ退散」と刻み祈願されたところ、フグは海道を一斉に開き、一行は無事に通過できたという言い伝えがある。

伝説は今でも語り継がれ、願いが叶うパワースポットとして近くに鎮座する鹿嶋神社にケルンを積み、願い事を祈願。訪れる観光客は多い



舟間海岸。以前は美しい砂浜だったが、台風通過のたびに、こうして次々に耳川から流れ出た流木が打ち上げられる。終わりなき戦い。日豊海岸国定公園の只中にある。海岸両岸には民宿があり、経営・利用者ともに嘆いている



眠り続ける「日向サンパーク旧温泉館」。いち早い復活は市民共通の願い。タイムリーな対応が望まれる

▶皆さんのが市政について困っていることやご意見、ご要望、ご提案などがありましたら、気軽に電話、メール、SNS(フェイスブック、ライン)などで連絡を。(防災士、認知症センター資格有)

★市の施設や道路、高齢者、障がい者、お子様のことなどの相談…いつでもお気軽にご連絡を。

▶住所:〒889-1112/日向市大字幸脇1088番地2

▶TEL:携帯/090-4347-2712

▶メール/kobat1125@gmail.com

▶小林たかひろHP/kobat.mimikawa.net

▶ふるさと日向市の自然美を写真で紹介しています。

Facebook、Instagram、thread、lineをご覧ください。

